

「健やか親子21」指標の分析・評価のための調査（概要）

調査設計は、平成24年度厚生労働科学研究「母子保健事業の効果的実施のための妊婦健診、乳幼児健診データの利活用に関する研究（研究代表者：山縣然太郎）」で行った。

データ集計・分析作業は、平成25年度厚生労働科学研究「「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究（研究代表者：山縣然太郎）」において行った。

<調査概要>

調査名	対象	調査方法	調査期間	回収率
親と子の健康度調査アンケート	130市町村（前回中間評価時対象市町村のうち調査協力を受け入れた市町村）の乳幼児健康診査を受診した児の保護者。 3・4ヶ月児6,181名、1歳6ヶ月児8,688名、3歳児8,444名	自記式質問紙 調査期間中に実施される各市区町村の乳幼児健康診査の対象に事前配布または健診会場にて記載依頼。回収は各市区町村が行った。	平成25年4～6月	80.3%
生活習慣と健康に関するアンケート	全都道府県より無作為に抽出した100校（前回中間評価時対象校に実施。廃校の場合は同規模の高校で実施）。回答があったのは、このうち83校の高校3年生2,827名（男子1,323名、女子1,504名）。1校1学級。	自記式質問紙	平成25年6月3日～7月27日	83%（100校中83校）
EPDSによる産後うつ頻度の把握に関するアンケート	全ての都道府県・指定都市・中核市・特別区・保健所設置市の保健所、及び市町村の保健センター2,231箇所中2,100箇所	自記式質問紙	平成25年4月8日～5月24日	94.0%
「健やか親子21」の推進状況に関する実態調査票	全ての都道府県、政令市・特別区、市町村（1,789箇所）	自記式質問紙	平成25年4月8日～5月24日	都道府県100%、 政令市・特別区100%、 市町村100%
思春期やせ症・不健康やせ頻度調査	全国27校の公立・私立高等学校の3年生女子3,648名	小学1年生からの身長・体重、通院・入院履歴等について、各協力校を研究協力者が訪問しデータ入力。	平成25年7月22日～9月6日	/